

日本共産党杉並区議会議員

週刊

こんにちは 山田耕平 です

2020.1.1 No.358

このニュースへのご感想
ご意見をお寄せください!

杉並区善福寺2-2-11

TEL 090-9973-0941

ホームページ

<http://yamadakohei.jp>



2020年 新しい年の幕開け 区議3期目も全力 みなさんと一緒に政治を動かします!



新生・日本共産党杉並区議団の6名。女性議員の比率を増やすことができました。



**みなさんの願い実現へ
3期目も全力奮闘します**
2020年がスタートしました。本年もよろしく願います。
昨年4月に行なわれた杉並区議会議員選挙では、みなさんのお力で3期目の議会に押し上げて頂きました。みなさんから寄せ頂いた願い、お預かりした議席の重みと責任を受け止めて、全力で頑張ります。

引き続き、3期目も日本共産党杉並区議団の幹事長として代表質問や議会運営等に携わっています。本年も、責任を持って務める決意です。
国政では消費税10%増税や社会保障削減等が強行されています。国の悪政からの「防波堤」となり、住民生活を守るのは基礎自治体の責務です。
「住民が主人公」を貫き、暮らし・福祉を支える区政を実現するために力を尽くします。

地域要求実現に全力

～2019年を振り返って～

公園木製遊具存続

区内公園で木製遊具等の撤去が進められています。近所の井荻公園でも突然、撤去作業が開始されました。利用児童や保護者の声を受け、住民説明会の開催と住民との協議を要請。膝詰めの協議が実施され、住民の要望に沿う木製遊具の設置が実現しました。



都営住宅跡地活用

桃井2丁目都営住宅が老朽化により取り壊され、跡地利用について住民の関心が高まっていました。議会質疑で保育施設や福祉施設の整備等、区民福祉の向上に資する跡地活用を求めました。区は「鋭意検討する」と答弁。認可保育所整備用地として活用することが決定しました。



これからの4年間も全力を尽くし、初心を忘れず区民の声を政治に届けます。

区議会議員選挙で3期目に挑戦 3457票の得票・14位で当選

昨年4月に行なわれた杉並区議会議員選挙で日本共産党は6人が当選しました。私は3457票を得票し14位で当選しました。活動エリアを縮小し、大激戦となりましたが、みなさんのご支援で3期目に押し上げて頂きました。

～2019年を振り返って・続き～

「住民が主人公」の杉並区政を目指して

杉並区議会のチェック機能として

地方議会は二元代表制のもと、首長の行政運営を住民の立場で監視し、チェックする役割があります。しかし、多くの会派は区長追従で、チェック機能の役割が適切に果たされていません。党区議団は杉並区議会のチェック機能として、徹底した調査に基づき住民目線で論戦に取り組んでいます。

次々と廃止される児童館…昨年末も5館 児童・保護者に寄り添い計画見直し求める

区立施設再編整備計画に基づき、区内児童館が次々と廃止されています。昨年末には5つの児童館を廃止する議案が可決・強行されました。

区は児童館を廃止しても、児童館機能は放課後等居場所事業などで継承するとしていますが、党区議団の論戦により、児童福祉法に基づく児童厚生施設でなくなることで、児童館ガイドラインに示される施設機能が大幅に縮小することが明らかとなっています。機能継承とは到底言えません。

党区議団は児童館存続を求めましたが、杉並区議会オール与党会派は児童館廃止に賛成しました。

さらに、東原学童クラブ保護者等が学童クラブ民営化実施を一年延期するよう求め、1282筆の陳情署名を提出しましたが、オール与党会派は保護者の切実な声に寄り添うことなく、不採択としました。



保健福祉分野の質問回数・質疑時間は議員任期3期中、区議会内でトップです。引き続き、全力で議会活動に取り組みます。

改選後の区議会でも、引き続き保健福祉委員（副委員長）を務めることになりました。社会福祉士の専門性を活かして徹底した論戦を行ない、杉並区の福祉向上に取り組んでいます。

社会福祉士の専門性を活かして

昨年の一コマ

2019 操法大会 第3分団準優勝
今回も一番員を務めました！

昨年の荻窪消防団操法大会では、私が所属する荻窪消防団第3分団が準優勝しました。今回も私は放水を担当する1番員を務め、7回目の出場となりました。大会当日の操法では、私の行動減点は無かったとのことで、訓練成果を発揮することができました。

残念ながら優勝には届きませんでしたが、引き続き、頑張ります。



今年もよろしくお祈いします

年末のインフルエンザ騒動（子ども3人中2人がインフルに…）子育て中の議員として、バタバタすることもあります。今年も頑張ります！家族一同、今年もよろしくお祈いします。

区民サービスは削減しながら… 区長、議員等の給与、報酬は引上げ

国政でのアベノミクスの悪影響や消費税の10%への増税などにより、国民生活は厳しい状況が続いています。区政では、児童館廃止や国民健康保険料引き上げなどの区民負担増が強行されました。一方、区長や議員が自らの給与・報酬を引き上げました。到底許されない姿勢であり、区民の理解を得られるものではありません。住民生活と乖離した杉並区議会の責任が厳しく問われます。

■区長、議員等の給与・報酬の引上げ議案への各会派の賛否

会派	自民	公明	共産	立民	平和	無維	共生	杉わ	正理	杉耕	無	美杉	革新
賛否	○	○	×	○	×	○	○	×	○	×	×	○	×